

# わが家の避難マップを作ろう

災害に対しては日頃からの備えが重要です。各家庭や地域で避難行動判定フロー等と合わせて活用し、わが家の避難マップを作成しましょう。

## STEP1 自宅付近の被害を確認しましょう

総合防災マップであなたの家を探して、予測されている被害の有無・程度を確認しましょう。

洪水浸水時:	被害	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり→予測される浸水深	m	高潮浸水時:	被害	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり→予測される浸水深	m
ため池浸水時:	被害	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり→予測される浸水深	m	津波浸水時:	津波避難対象地域	<input type="checkbox"/> 地域外 <input type="checkbox"/> 地域内	

## STEP2 あなたの避難先はどこですか？

目標とする避難先を確認して、避難先に印をつけ、避難先までの経路を考えてみましょう。浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。風水害時には、コミュニティセンター等の一時避難所が先行して開設されます。また、地震発生後、火災のおそれがある時は、公園等の一時避難地に避難してください。

洪水浸水時:	避難先は	高潮浸水時:	避難先は
ため池浸水時:	避難先は	津波浸水時:	避難先は

「分散避難」を心がけ、親戚や友人の家等、安全な避難先があれば、そちらも確認してください。

## STEP3 実際に避難経路を歩いてみよう

実際に避難先まで歩いてみましょう。総合防災マップをもって危険なところなどをチェックしながら歩き、安全で避難しやすい経路や所要時間を確認しましょう。

### チェックポイント

- ✓ 川や水路等、大雨の際に危険な箇所はないか
- ✓ 自宅から避難先までの時間はどの程度か
- ✓ 坂道や階段等の歩きにくい箇所はないか
- ✓ 避難途中で逃げ込めそうな場所はあるか
- ✓ 夜間での避難を想定し、街灯等はあるか
- ✓ ブロック塀倒壊のおそれがないか
- ✓ 津波避難ビルの出入口はどこか
- ✓ 自動販売機が倒れるおそれがないか
- ✓ 配慮が必要な方でも歩くことができるか
- ✓ 津波避難目標地点までの所要時間は何分か
- ✓ その他、気づいたことはないか

## STEP4 わが家の避難マップを作ろう

安全に避難先まで行けるよう、わが家の避難マップを作りましょう。作成例を参考に、STEP3で調べたことを書き込んで、一番安全な経路を確かめましょう。

### ●わが家の避難マップ作成例

